

東日本大震災について

平成 23 年 3 月 16 日（水）

（社）奈良県放射線技師会 会長 高嶋 敏光

このたびの地震と津波に被災されました方々に対しまして、心からお見舞いを申し上げます。

さて、震災による福島第一原子力発電所事故に伴う放射線被ばくの影響につきましては大変憂慮しているところです。

今回の被ばく事故に関して、日本放射線技師会中澤会長から都道府県の診療放射線技師（放射線管理士）に対し、放射線汚染測定ボランティアの協力要請が届いているところです。

しかし、現地の交通機関の乱れやガソリン不足により活動に困難が生じていること、また、現地に赴く手段、食料や水、寝袋等の準備、GMカウンター等の測定器の確保等を鑑みると、現時点での派遣協力は困難な状況と判断しております。

今後、日本放射線技師会、奈良県行政等との連携を密にしながら更なる情報収集に努め、今後の協力体制を構築して会員の皆様に情報を発信してまいりたいと思います。

以上、現状での奈良県放射線技師会の考え方をお伝えするとともに、会員皆様のご理解とご支援をよろしくお願い致します。